



5050

ZOOM CHOIR

ズームクワイヤー

オペレーションマニュアル

ごあいさつ

このたびはズームクワイヤー5050（以下「5050」と呼びます）をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。5050はマルチエフェクターで培ったズームのノウハウをエフェクトペダルに集約した新しいタイプの残響エフェクターで、以下のような特長を備えています。

- 最新のデジタル技術によって自然なコーラス、リバーブ、ディレイなどのクオリティの高い残響系サウンドを実現しています。
- エレキギターのみならず、エレアコギターやベースにも十分に対応します。また、ズームドライバー5000とのコンビネーションも完璧で、多彩なギターサウンドをクリエイトできます。
- 洗練された7タイプのサウンドバリエーションを装備。音を太くしたり、響きを強くしたりとさまざまな目的に応じ使用できます。

1. CHO REV
2. CHO DLY
3. MULTI CHO
4. DOUBLING

5. DIMENSION
6. AURA
7. DELAY

- 幅広いレンジを持つ各コントロールノブにより、あらゆるシーンに合わせた、自在な音作りが可能です。
- 従来のコンパクトエフェクターにはなかったプログラムモードを備え、任意の設定をメモリーすることができます。
- オプションのフットスイッチFS01を使うことにより、ライブなどでの操作性をさらに向上させることができます。
- ギターアンプだけでなく、ラインで使用しても音作りが楽しめます。

5050の機能をよく理解し、未永くご愛用いただくために、このマニュアルをよくお読みくださるようお願いいたします。

目次

安全上のご注意	2
使用上のご注意	3
はじめに	5
各部の名称と機能	6
フロントパネル	6
リアパネル/右サイドパネル	8
左サイドパネル	9
5050の接続	10
5050の設定について	11
マニュアルモードの音色の設定	11
プログラムモードの音色の設定	12
5050本体を使って音色を設定する	12
FS01を使って音色を設定する	13
カラーのバリエーションについて	15
プログラム/マニュアルモードの活用法	17
セッティング例	18
ブランクチャート	20
仕様	

安全上のご注意

本製品を安全にご使用いただくために、つぎの事項にご注意ください。

電源について

5050の電源には単3乾電池6本またはACアダプターAD-0003(別売)を使用します。これ以外のACアダプターでご使用になりますと、故障や誤動作の原因となり、危険ですからおやめください。

電源電圧が標準以外の地域(たとえば国外)で、5050をACアダプターでご使用になる場合は、必ずZOOM製品取り扱い店に相談して適切なACアダプターをご使用ください。

使用環境について

5050をつぎのような場所でご使用になりますと、故障の原因となりますのでお避けください。

- 寒暖の激しいところ
- 湿度が極端に高いところ
- 砂やほこりの多いところ
- 振動の多いところ

取り扱いについて

5050は精密機器です。スイッチ類に無理な力を加えないようにしてください。必要以上に力を加えたり、落としたりぶつけるなどの衝撃を与えると、故障の原因になります。

改造について

ケースを開けたり、改造を加えることは、故障の原因となりますので絶対におやめください。

改造が原因で故障が発生しても当社では責任を負い兼ねますのでご了承ください。

接続ケーブルと入出力ジャックについて

ケーブルを接続する際は、本機及び各機器の電源スイッチを必ずオフにしてから行なってください。本製品を移動するときは、必ずすべての接続ケーブルとACアダプターを抜いてから行なってください。

使用上のご注意

他の電気機器への影響について

5050はデジタル回路を多く使用しているため、近くのテレビやラジオに雑音が生じることがあります。この場合は十分に距離をおいて設置してください。また5050の近くに蛍光灯やモーター内蔵の機器があると、正常に動作しないことがありますのでご注意ください。

お手入れについて

パネルが汚れたときは、柔らかい布で乾拭きしてください。それでも汚れが落ちない場合は、湿らせた布をよくしぼって拭いてください。クレンザー、ワックス、およびアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

故障について

故障したり異常が発生した場合は、すぐに電源を切り、接続ケーブル類をはずしてください。

「製品の型名」「製造番号」「故障、異常の具体的な症状」「お客様のお名前、ご住所、お電話番号」をお買い上げの販売店またはズームサービスまでご連絡ください。

保証書の手続きとサービスについて

5050の保証期間は、お買い上げいただいた日から1年間です。ご購入された販売店で必ず保証書の手続きをとってください。

万一保証期間内に、製造上の不備による故障が生じた場合は、無償で修理致しますのでお買い上げの販売店に保証書を提示して修理をご依頼ください。ただし、つぎの場合の修理は有償となります。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書にお買い上げの年月日、販売店名の記入がない場合。
3. お客様の取り扱い方法が不適当のために生じた故障の場合。
4. 当社の指定業者以外の手により修理、改造された場合。
5. 故障の原因が本製品以外の、他の機器にある場合。

6. お買い上げ後に製品を落としたり、ぶつけるなど、過度の衝撃による故障の場合。
7. 火災、公害、ガス、異常電圧、および天災(地震、落雷、津波など)によって生じた故障の場合。
8. 消耗部品(電池など)を交換する場合。
9. 日本国外でご使用になる場合。

保証期間が切れますと修理は有償となりますが、引き続き責任を持って製品の修理を行いません。

このマニュアルは将来必要となることがありますので、必ず参照しやすいところに保管してください。

はじめに

ここで5050の働きについて簡単に説明しておきましょう。また5050ならではの用語についても説明していますので、すでに各種のエフェクターを活用している方もひとつとお目を通しておいってください。

マニュアルモードとプログラムモード

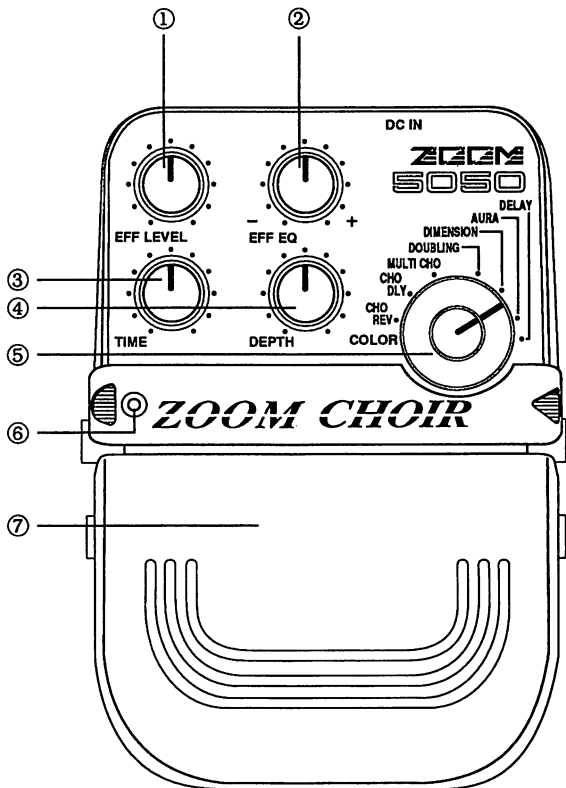
5050には、各コントロールの現在の設定による音色を出力する機能と、現在の設定に関係なく、あらかじめ5050の内部に記憶させておいた設定による音色を出力する機能があります。現在の設定を出力する状態をマニュアルモード、記憶させておいた設定を出力する状態をプログラムモードと呼びます。この2つのモードを使って、2種類の音色を駆使したプレイが楽しめます。

カラー

5050にはカラーと呼ばれる、7種類のサウンドバリエーションが搭載されています。カラーによって内部的なエフェクトの組み合わせやキャラクターが異なりますので、5050で音色の設定を行うときにカラーコントロールでどれを使うかを選びます。なお、タイムとデプスのコントロールの効果はこのカラーによって異なりますので、ご注意ください。

各部の名称と機能

フロントパネル



① エフェクトレベルコントロール (LEVEL)

エフェクト音を原音にミックスする量を調節します。

② エフェクトEQコントロール (EQ)

エフェクト音のハイ (高域) のレベルを調節します。右 (十側) に回すときらびやかな感じになり、左 (一側) に回すと落ち着いた感じになります。



変化幅が広いので、右に回しすぎるとノイズが目立つことがあります。

③ タイムコントロール (TIME)

リバーブタイムやディレイタイムなど、このコントロールの効果はカラーによって異なります。

④ デプスコントロール (DEPTH)

リバーブの深さやディレイのフィードバックなど、このコントロールの効果はカラーによって異なります。

⑤ カラーコントロール (COLOR)

音色のタイプを選択します。それぞれのタイプの詳しい説明は15ページ～16ページをご覧ください。



①～⑤はバイパス状態では効果はありません。

⑥ パワーLED

電源オンの状態を表すインジケータです。マニュアルモードのときは赤、プログラムモードのときは緑に点灯します。ただしバイパス (ギターのダイレクト音のみを出力する状態) のときは点灯しません。

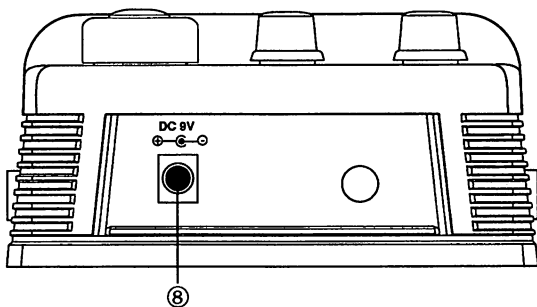


電池が残り少なくなるとパワーLEDが点滅を始めますので、早めに電池交換をしてください。電池の寿命は、マンガン電池使用時で約3時間、アルカリ電池使用時で約8時間です。

⑦ ペダルスイッチ

バイパス時の切り替えや、マニュアルモードとプログラムモードの切り替えに使用します。

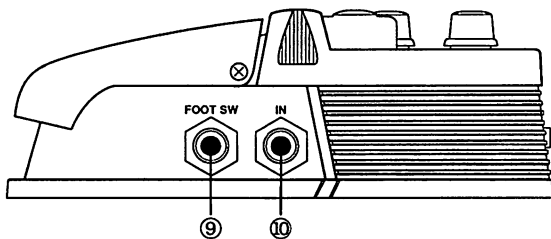
リアパネル



⑧ ACアダプター端子

オプションのACアダプターAD-0003を接続する端子です。

右サイドパネル



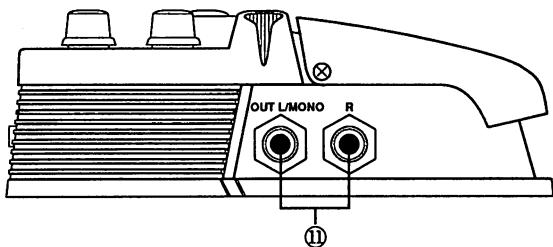
⑨ フットスイッチ端子

オプションのフットスイッチFS01を接続する端子です。

⑩ インプット端子

ギターを接続する端子です。この端子にケーブルを接続すると、自動的に電源がオンになります。

左サイドパネル



⑪ アウトプット端子

ギターアンプやPAシステム、レコーディングミキサーの入力部などに接続するステレオの端子です。2台のアンプにステレオで接続することにより、自然な広がりを得られます。モノラルで再生する場合はL/MONO側を使います。

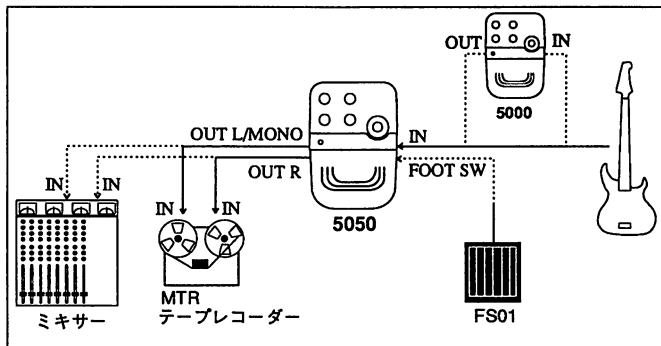
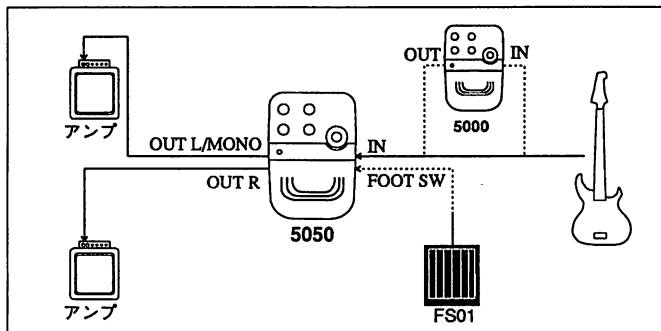


NOTE

5050の底面にはバッテリーケースがあります。バッテリーケース内に示された極性に従って乾電池（単3×6本）を収納してください。

5050の接続

楽器やズームドライバー5000の出力を5050のインプット端子に、5050のアウトプット端子をアンプ、MTRなどに接続してください。



モノラルで再生する場合はL/MONO側を使います。

ご使用にならないときは、ケーブルを5050のインプット端子から抜いてください。接続したままにしておくとバッテリーが消耗します。

5050の設定について

5050には各コントロールの設定をそのまま出力するマニュアルモードと、内部にメモリーされた設定を出力するプログラムモードがあります。ここでは各モードでの音色設定、モードの切り替え方法などについて説明します。

マニュアルモードの音色の設定

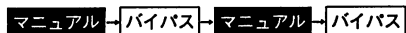
まず一般的な使い方であるマニュアルモードでの音色の設定について説明します。

1. インプット端子にケーブルを接続するとパワーLEDが赤く点灯します。これは5050がマニュアルモードであることを示します。各コントロールはセンター付近に合わせておき、楽器を弾きながら調節を行ってください。
2. カラーコントロールで音色のタイプを選択します。タイプによる詳しい説明は15ページ～16ページをご覧ください。
3. エフェクトレベルコントロールでエフェクト量を調節します。
4. タイムコントロールやデプスコントロールでエフェクトのかかり具合や深さを調節します。
5. エフェクトEQコントロールで高域レベルを調節します。

これで、マニュアルモードでの音色の設定ができました。

エフェクトチェンジ

ペダルスイッチを踏むと、次のようにモードが変化します。

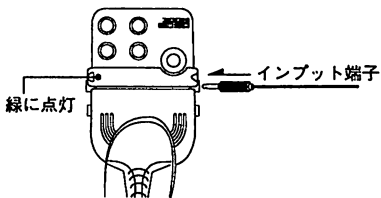


プログラムモードの音色の設定

プログラムモードは、5050の内部にメモリーしておいた音色を出力するモードです。マニュアルモードと合わせて、2種類の音色を使い分けたプレイが楽しめます。また、オプションのフットスイッチFS01を使用するとさらに自由なモードの切り替えを行うことができます。

5050本体を使って音色をメモリーする

1. 5050のペダルスイッチを踏みながらインプット端子にケーブルを接続します。パワーLEDが緑に点灯し、5050がプログラムモードであることを示します。



2. マニュアルモードと同様に、各コントロールで音色を調節します。
3. もう一度ペダルスイッチを踏むと、音色がメモリーされます。このあとパワーLEDは消灯し、5050はバイパス状態になります。これでプログラムモードの音色の設定ができました。プログラムモードに入ったときは、常に、この音色が出力されることになります。以後、電源をオフにしてもこの設定は消えません。



プログラムモードでは、プログラムモードに入ってから動かされたコントロールのみがメモリーされます。

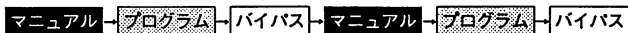
4. もう一度ペダルスイッチを踏むとパワーLEDが赤く点灯し、5050はマニュアルモードになります。ここでマニュアルモードでの設定を行います。好みの設定を各コントロールで行ってください。

これでプログラムモードとマニュアルモードの設定ができました。

ペダルスイッチでモードを切り替えると、マニュアルモードのときはコントロールの位置どおりの音色が出力され、プログラムモードのときはコントロールの位置とは関係なく、内部にメモリーされている音色が出力されます。

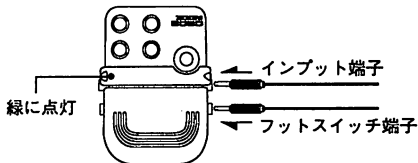
エフェクトチェンジ

ペダルスイッチを踏むと、次のようにモードが変化します。



FS01を使って音色をメモリーする

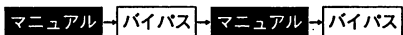
1. 5050本体のフットスイッチ端子にFS01を接続し、インプット端子にケーブルを接続します。パワーLEDが緑に点灯し、5050がプログラムモードであることを示します。インプット端子にケーブルを接続してからFS01の接続を行っても、プログラムモードとなります。



2. 好みの設定を各コントロールで行ってください。
3. 本体のペダルスイッチまたはFS01を踏むと、音色がメモリーされます。このあとパワーLEDは消え、5050はバイパス状態になります。
4. バイパス状態からペダルスイッチを踏むと、パワーLEDが赤く点灯し、5050はマニュアルモードになります。ここでマニュアルモードの音色の設定を行います。好みの設定を各コントロールで行ってください。

エフェクトチェンジ

ペダルスイッチを続けて踏むと、次のようにモードが変化します。



FS01を続けて踏むと、次のようにモードが変化します。



ペダルスイッチとFS01を交互に踏むと、次のようにモードが変化します。



(ペダルスイッチを踏むとマニュアルモードとなり、FS01を踏むとプログラムモードとなります)



NOTE

バイパス状態からペダルスイッチを押すとマニュアルモードとなり、FS01を踏むとプログラムモードとなります。

プログラムモードの設定を変更するときは、5050がプログラムモードのときに各コントロールを変更し、ペダルスイッチかFS01を踏めば、新しい設定がメモリーされます。

カラーのパリエーションについて

カラーは7種類の中から選ぶことのできる、サウンドパリエーションです。カラーによって、内部的なエフェクトの組み合わせやキャラクターが異なりますので、5050を7台分のエフェクターと考えることができます。任意のカラーを選ぶことにより、幅広い用途にご活用ください。

CHO REV

使用範囲の広い上品なコーラスにリバーブを組み合わせたカラーです。ルームからホールまで自然で高品位な残響を作ることができます。

TIME- リバーブタイムを0.5s~3.5sの範囲で設定します。
右へ回すほど長い残響時間が得られます。

DEPTH- リバーブのミックス量を調整します。
右へ回すほど奥行き感が出ます。

CHO DLY

変調感の少ない自然なコーラスとピンポンディレイを組み合わせたカラーで、リズムカルな曲に向いています。モノラル接続の場合はL/Rのディレイ成分がミックスされるため、ディレイタイムは半分になります。

TIME- ディレイタイムを1ms~220msの範囲で設定します。
右へ回すほどディレイタイムが長くなります。

DEPTH- ディレイのフィードバック量を調整します。
右へ回すほど繰り返し回数が増えます。

MULTI CHO

ズーム独自のボイス多層化アルゴリズムによる最大8ボイスの多層コーラス。一般的なデジタルコーラスとは違い、より自然で厚みのあるサウンドです。

TIME- コーラス効果の深さを調節します。
右へ回すほど深くなります。

DEPTH- コーラスの厚みを調節します。
右へ回すほどボイス数が増し、厚くなります。

DOUBLING

ダブリングとアーリーリフレクションを組み合わせたカラーで、音を厚くシャープにします。とくにディストーションと組み合わせてぶ厚いサウンドを作るのに最適です。

TIME- アーリーリフレクションのミックス量を調整します。
右へ回すほど奥行き感が出ます。

DEPTH- ダブリングタイムを調節します。
右へ回すほど広がり感が得られます。

DIMENSION

デチューンとコーラスを組み合わせたカラーで、変調感のないさわやかなサウンドから強力な変調サウンドまで幅広く音作りができます。

TIME- コーラスのモジュレーションスピードを調節します。
右へ回すほど速くなります。

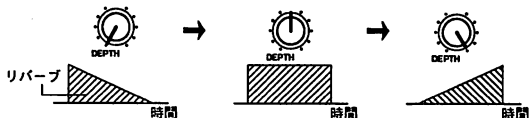
DEPTH- コーラスのミックス量を調整します。
右へ回すほど厚みや広がり感が得られます。

AURA

デチューンとショートリバーブを組み合わせたカラーです。DEPTHの調節により、ゲートリバーブのような特殊なサウンドも作れます。

TIME- リバーブタイムを設定します。
右へ回すほど残響感が出ます。

DEPTH- リバーブのエンベロープタイプが変化します。



DELAY

最大1,000msのモノラルロングディレイです。

TIME- ディレイタイムを0ms~1,000msの範囲で設定します。
右へ回すほどディレイタイムが長くなります。

DEPTH- ディレイのフィードバック量を調整します。
右へ回すほど繰り返し回数が増えます。



DELAYを除くすべてのカラーはステレオエフェクトです。ただし、モノラル再生時でも十分な広がり感を得られるようになっています。音を出している状態でTIME、DEPTHのコントロールを動かすとノイズが出ることがあります。

プログラム/マニュアルモードの活用法

プログラムモードとマニュアルモードを使い分けることによって、下記のようなさまざまな応用が考えられ、特にライブなどで威力を発揮します。ここで挙げるもののほかにも、ご自分でいろいろトライしてみてください。

1. 曲によるカラー切り替え

マニュアルモードとプログラムモードのカラーを変えて設定しておけば、曲（たとえばハードタイプの曲とバラードタイプの曲）によって、弾き分けることができます。曲調に合わせてダブルリング（ショート・ディレイ）と厚いコーラスを切り替えることもできます。

2. リード向けとバックアップ向けの音色切り替え

例えばカラーがDIMENSIONのときにデブス、タイムをマニュアルモードで深めに、プログラムモードで浅めに設定しておき、マニュアルモードをクリーン系のバックアッププレイ、プログラムモードをディストーション系のリードプレイに使用します。また、アルペジオ奏法とリフ奏法の使い分けに活用しても面白いでしょう。

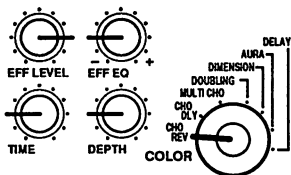
3. 曲によるディレイタイムの切り替え

カラーがCHO DLYやDELAYのときにタイムでディレイタイムを変えられます。曲のテンポに応じた設定にあらかじめしておくことで、曲の合間に設定しなおさなくて済みます。

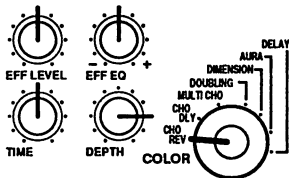
4. 曲によるエフェクトEQの切り替え

エフェクトEQをマニュアルモードとプログラムモードでそれぞれソフトな感じ、ハードな感じに設定しておきます。モードを切り替えたとき、サウンドそのもののタイプを変えずにニュアンスの違いを出すことができ、同系統の曲を演奏するときなどに便利です。

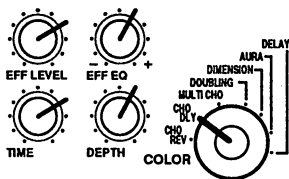
セッティング例



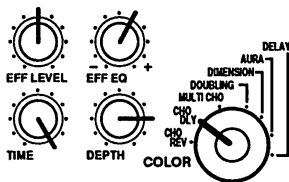
JAZZ CLUB



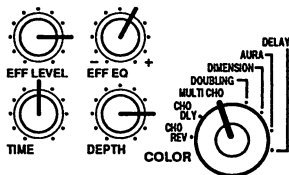
CATHEDRAL



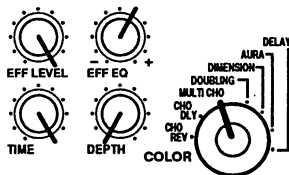
BRITISH RHYTHM



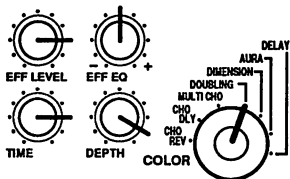
SYMPHONIC ECHO



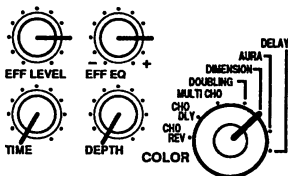
ZOOM CHORUS



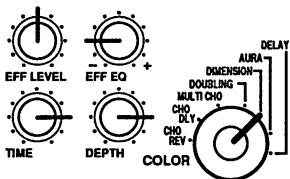
ORGAN CHORUS



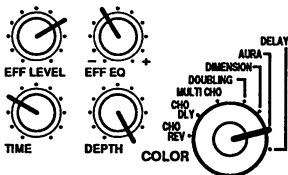
DOUBLE ROCK



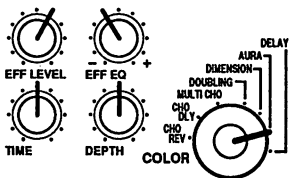
GOSPEL CHORUS



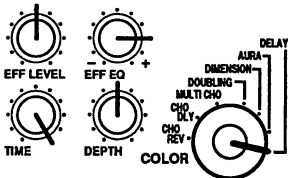
AMAZING GRACE



REVERSE WASH

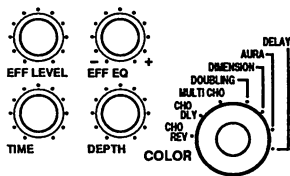
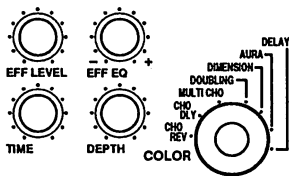
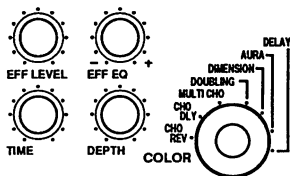
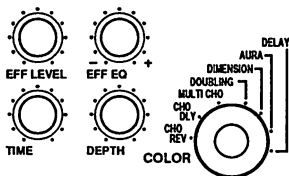
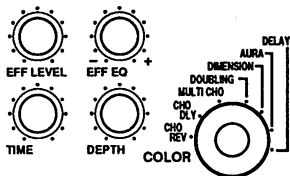
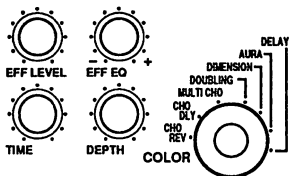


SOLO AMBIENCE



DEEP SPACE

ブランクチャート



仕様

電源：	単3乾電池6本（付属） ACアダプターAD-0003（オプション）
消費電流：	140mA
コントロール：	エフェクトレベル、エフェクトEQ、タイム、 デプス、カラー
インジケーター：	パワーLED（エフェクトオン・オフ、 モード表示、バッテリーチェック兼用）
端子：	インプット、アウトプット（L/MONO、R）、 フットスイッチ
入力インピーダンス：	470k Ω
出力インピーダンス：	1k Ω （モノ時）、2k Ω （ステレオ時）
外形寸法：	116mm(W)×160mm(D)×57mm(H)
重量：	880g（電池込み）



High-Tech Tools for Artistic Expression

株式会社ズーム

〒101 東京都千代田区外神田3-5-12 聖公会神田ビル3階

TEL: 03-5256-1741 FAX: 03-5256-1743

Printed in Japan 5050-5010
